

**Q** なぜ、追分地区に道の駅を建設するのですか？

**A** 安平町の近隣には、年間 500 万人の観光客が訪れる千歳市や、旅行誌での観光地調査で人気度が高まってきている長沼・由仁・栗山エリアが存在しています。交流人口拡大のためには、これらの隣接エリアからの誘客が重要ですが、それを果たすには、町の各所に情報発信基地を設けることが必要です。

現在、早来地区には、ゴルフ場等の集客性の高い観光施設や、物産館等の情報発信拠点が存在する一方、追分地区には拠点施設が無い状況にあります。追分地区は鉄道遺産に恵まれた地域ですので、このような地域の独自文化をコンセプトに込めて拠点施設化することが、隣接エリアからの誘客に繋がると考えます。

また、将来的に安平町の道の駅が多くのお客様から「目的地化」された場合には、追分町インターチェンジを利用した札幌圏からの観光客や新千歳空港からのレンタカー客の増加が見込める点も地理的メリットとして挙げられます。

なお、情報発信拠点の整備に併せて、来町者の回遊性を促す点が重要なポイントとなります。全道の道の駅を見ますと、施設内に案内人を置き、地場産食材を使用する店舗と連携してスタンプラリーを行っている事例や、リストバンドを販売し、購入された方が町内の複数の協賛店でサービスを受けることができる仕組みを構築している事例もあります。これらの既存事例も分析しながら、安平町独自の町内回遊策も検討していきたいと考えています。

《そのほかの意見・質問》

- ・立寄り想定人数の算出方法等に関する意見、質問
- ・国道 234 号の大型車両の混入率が高いことについて  
～大型車両は、道の駅への立寄りが見込めない。  
～大型車両の駐車ニーズがあるので、専用の駐車スペースを考慮すべき。
- ・事業実施に向けた経営の見通しについて憂慮する意見・質問、維持費やランニングコストについて
- ・既存商店などへの影響を懸念する意見
- ・小学校が隣接していることや不特定多数の来客があることから、防犯対策に配慮してほしい。
- ・多くのお客さんが立ち寄る施設であり、他の道の駅に勝る魅力が必要
- ・道の駅の魅力や成功のカギは、町民がいかに関わり合いを持つかが重要であり、そういった点を踏まえた体制や手法などについて熟考すべき。
- ・農産物・特産品の販路拡大や地域の活性化の一つとして、道の駅に期待している。

